

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	
工期	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日		作成者	加藤 雅人	
作業名称	雪庇防止柵落下対策工事	作業手順書	作成年月日	令和2年10月12日	
使用機械 使用設備	4tユニック、2トントラック、高所作業車(27m規格)		改正年月日	令和2年10月25日	
			現場責任者		
使用工具、機器	ハンマードリル、コンプレッサー(1.56m ³ /min)、ほうき、ハンマー		協力会社	会社名	
			協力会社責任者	自筆サイン	
保護具	安全帯、ヘルメット、安全靴、脚絆、自発光チョッキ、防護メガネ、マスク、手袋、視認性の良い作業着		作業順序		
材料	ベースプレート、両端エンドクランプ、打ち込み式アンカーボルト、支柱落下防止ワイヤー アイボルト、ワイヤークリップ、パネル落下防止ワイヤー、結束バンド、コーキング材		1	現地確認	
	自動車運転免許証		2	準備作業	
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	特別教育:職長・振動工具取扱		3	墨出し・マーキング	
	技能講習:高所作業車・玉掛け・小型移動式クレーン		4	切削工	
作業人員	職長 1人、作業責任者 1人、高所オペ 1名、作業員 1名、保安員 2人		5	がら回収・清掃工	
	合計 6名		6	乳剤散布	
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日	令和2年10月26日	7	舗設・転圧工
	(役割を確認してこの作業に関わる 全員が自筆サインする)			8	後片付け

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対する周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対する指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
			××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要	

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための実施すべき事項の特定 (防止対策)
(誰が)	主なステップ	作業のポイント	(予想されるミス・ロス)						
現地確認(全員)	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	周辺安全確認 (埋設物・構造物)	管理用図面で事前確認							
準備作業(全員)	ミーティング	健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業者へ周知・報告すること。車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。							
墨出し・マーキング(職長)	プレート設置位置の確認	プレート孔に合わせて削孔位置をマーキング	のり面で足を滑らせ転倒する。	×	○	×	3		ロープをGr等に設置し、転倒を防止する。
支柱落下防止工									
移動時	入場順・方法を守る		バック時に作業員と接触する	○	×	○	3		バック誘導者を必ず設ける
切削工(作業員)	墨出し範囲をハンマードリルで削孔する	所定の幅、深さに十分注意する	振動工具の連続使用で振動障害になる	△	△	△	3		振動工具の連続使用時間を守る。(1日2h以内、一連続作業時間10分以内→5分以上の休止時間)
			はつり片が飛散し、作業車・作業員へ当たる	×	○	×	3		はつり作業中は防護メガネ・マスクを着用する。また、飛散防止ネットを設置する。
ベースプレート設置工	金属拡張式アンカーをプレートに合わせて設置	鉄筋に当たった場合は他の位置へずらす	手元がぐらつきハンマーで手をけがする	×	○	×	3		手元の明るさを十分に保ち、手袋を必ず着用する。
	プレートを設置する	余長が確保できない場合は、末端部で折り返す	ベースプレート・ワイヤー等の重量物を降ろしたり運ぶ際に腰を痛める	×	○	×	3		重量物を運ぶ際は、2名以上で声を掛け合いながら運ぶ。
ワイヤー設置工	ワイヤーとベースプレートをエンドクランプで固定	ワイヤーに緊張力が働かぬよう、たるみを持たせる	設置したプレートやワイヤーに引っかかり、転倒する	△	○	△	2		ヘッドライトを確実につけ、バルーン・テラスンダーで現場の明るさを保つようにする。
パネル落下防止工									
アイボルト設置工	材料を高所作業車で運搬する	敷板を設置しタイヤが浮くようにする	ワイヤー等の重量物を降ろしたり運ぶ際に腰を痛める	×	○	×	3		重量物を運ぶ際は、2名以上で声を掛け合いながら運ぶ。
	高所作業車を用い、アイボルトを設置する	水平がしっかりとれているか確認する	高所作業車から物を落とし、下にいる作業員・保安員へ当たる	△	×	△	4		バケツ全面を養生する。工具には落下防止ワイヤーを取り付け、バケツと固定する。
			作業員と高所作業車のブーム及びバケツが接触し、怪我をする	○	△	○	2		ある程度の間隔を保つ。バケツ下に入らないことを徹底する。
			高所作業車から転落する	○	×	○	3		安全帯を必ず着用し、乗り出したり、無理な体勢で作業を行わない。
ワイヤー設置工	パネル落下防止ワイヤーをアイボルトに通す		他車両が作業範囲へ誤進入し追突される	○	×	○	3		正対方向で作業を行い、事前に退避場所の確認を行う。
	両端をワイヤークリップを用いて、固定する。								
後片付け(全員)	清掃作業を行う	ほうき、ブロー、ハンドスウィーパーで清掃する							工事車両幕を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事